

クリスマスツリー アレンジメントづくり

■クリスマスにはどうしてモミの木を飾るの？

『モミの木』： 現在では、定番のモミの木ですがその由来は冬でも葉が落ちない針葉樹が永遠の命の象徴として扱われたことから始まります。

『球体のオーナメント（飾り）』： キリスト生誕の劇中にて登場する禁断の木。その木に実る知識の果実・りんごを意味します。冬にはりんごの木に葉がならないため、モミの木にりんごを付けて代わりにしたという説もあります。

『頂上の星（トップスター）』： かつて遠くにいた賢者を空に浮かぶ一つの大きな星がキリスト生誕の地・ベツレヘムへと導いた…という逸話から、希望の星としてツリーの一番上に飾られるようになりました。

素材の紹介

花材各種、資材など

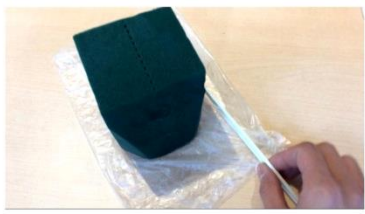
■クリスマスツリー作り
12月に入って、街中クリスマス装飾やイルミネーション色ですね。今回は、普段なかなか触れることのない、ヒバや杉を使ったアレンジメント。アクセントとして、実物やりんごを使用します。テーマは【クリスマスツリー】です！
飾る場所をイメージして、「レースのクロスを敷いて食卓に」「飾りシャンデリアを合わせて玄関に」などオリジナルのテーマを添えるとクリスマスの気分を一層盛り上げてくれることでしょう。



- | | |
|--|--|
| <p>■道具&資材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハサミ ・ナイフ ・オアシス ・ワイヤー (#24) ・リボン | <p>■花材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孔雀ヒバ ・ヒムロ杉 ・ガーベラ ・バラ ・spカーネーション ・ヒベリカム ・松かさ ・コットンツリー ・飾りんご |
|--|--|

①オアシスをセットします

器に形に合うようにカットします



※ポイント
①大きくカットしすぎると花を挿したときにグラつくので慎重に。
②サイズの調整が終わったら、水漏れ防止の為、ビニールを敷きます。

■面取り
オアシスを使用する場合、面取りという処理を行います。この作業には、3つの効果があります。
①土台崩れ防止
②花を挿しやすくする
③水がこぼれるのを防止する



②オアシスでベース制作

孔雀ヒバとヒムロ杉でツリー型を作ります



① 中心はまっすぐなものを使うとキレイに仕上がります。



② 余分な葉を取って茎を出すと挿しやすいです。



③ バランスを考えながらツリー型にしていきます。



④ ベースが完成！

③花を挿します

ツリーのベースが出来たら、花を入れて色をプラス



■立体感
① 高さ(縦)×幅(横)×奥行き(斜め)
② 花で作る面の凹凸(形の組み合わせ)
③ 花の強弱(色の組み合わせ)

※ポイント
ツリーのフォルムを意識して、下に広がっていくようにコーン型に挿しましょう。大きい花材は真ん中より下側に入れることで、重心が下側にいき安定したバランスがつけれます。



バラやヒベリカムは、余分な葉を取りましょう。

④季節の材料

オアシスに挿す為にワイヤーを掛けます



※ポイント
ワイヤーは入れる場所が決まったらカットしましょう。先にワイヤーを短くカットすると、後でワイヤーを長く使用したい場合、場所の変更ができなくなります。



ランダムに入れれたり、グルーピングにしたり。配置はお好みで。



⑤完成！！

ご自宅でオリジナルアレンジを楽しんでください♪



complete

■長く楽しむために
2日に1回程度、水をあげてください。オアシスに挿した部分を水きり*すると、水あがり良くなります。(水の中で切ることで雑菌を落とす・切り口を新しくすることができます。)直射日光や暖房の効いた場所は避けてください。